

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **08132922 A**

(43) Date of publication of application: 28.05.96

(51) Int. Cl

**B60K 37/00**

(21) Application number: 06274603

(22) Date of filing: 09.11.94

(71) Applicant: DAIHATSU MOTOR CO LTD

(72) Inventor: KAWABATA MASATOSHI

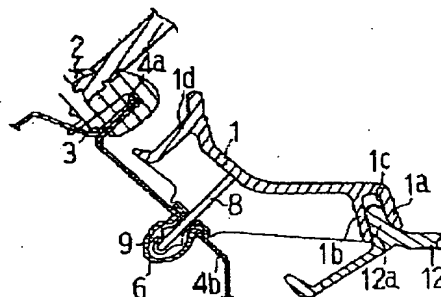
(54) GARNISH FITTING STRUCTURE

(57) Abstract:

PURPOSE: To allow an instrument panel, used in common among various vehicle types, to be fitted easily and rapidly to various vehicles and improve stability and rigidity after fitting.

CONSTITUTION: A protrusion 1b is formed with a specified clearance from a garnish rear edge part 1a toward the lower face of a garnish 1. A recessed groove 1c is formed between the protrusion 1b and the garnish rear edge part 1a. A clip 9 is locked to the lower face rib 8 of the garnish 1. When the garnish rear edge part 1a is overlapped to come on the rear side of the shielding rib 12a of an instrument panel 12 used in common among various vehicle types, the recessed groove 1c of the garnish 1 is positioned being jointed to the rib 12a.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO





(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-132922

(43) 公開日 平成8年(1996)5月28日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>

B 6 0 K 37/00

識別記号

庁内整理番号

C

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-274603

(22) 出願日 平成6年(1994)11月9日

(71) 出願人 000002967

ダイハツ工業株式会社

大阪府池田市ダイハツ町1番1号

(72) 発明者 川畑 雅稔

大阪府池田市桃園2丁目1番1号 ダイハ

ツ工業株式会社内

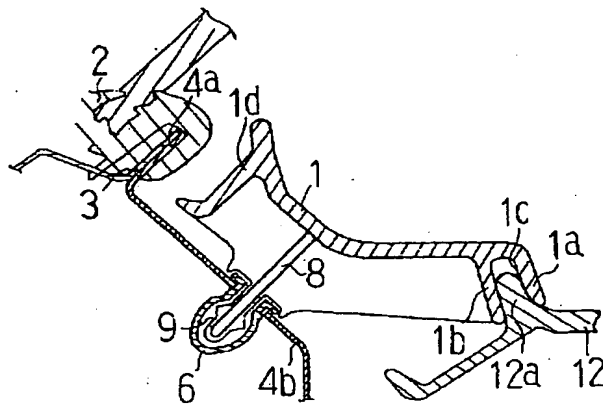
(74) 代理人 弁理士 江原 省吾 (外2名)

(54) 【発明の名称】 ガーニッシュの取付構造

(57) 【要約】

【目的】 車種間共用インストルメントパネルを簡易迅速に各種車両に取付可能ならしめ、取付後の安定性及び剛性を向上させる。

【構成】 ガーニッシュ後縁部1aから所定の間隙をおいてガーニッシュ1の下面に向けて突条1bを形成する。突条1bとガーニッシュ後縁部1aとの間に凹溝1cを形成する。ガーニッシュ1の下面のリブ8にはクリップ9を係止する。ガーニッシュ後縁部1aを、車種間共用インストルメントパネル12の目隠し用リブ12aの後側にくるように重ね合わせると、ガーニッシュ1の凹溝1cがリブ12aに接合されて位置ぎめされる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】車種間共用インストルメントパネルの前縁部と、フロントウィンドシールド下縁部との間の隙間を閉塞するガーニッシュの取付構造において、前記インストルメントパネルの前縁部に沿って上方に突設された隙間目隠し用のリブに、前記ガーニッシュの後縁部を重ね合わせて位置決めし、かつ、ガーニッシュの下面をインストルメントパネル及び又はカウルに接合手段で連結したことを特徴とするガーニッシュの取付構造。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、インストルメントパネルに突設された目隠し用リブを利用してガーニッシュを取り付けることにより、一種類のインストルメントパネルを異なる車種間で共用できるようにするガーニッシュの取付構造に関する。

## 【0002】

【従来の技術】各種車両の間で共用されるインストルメントパネルの前端部とフロントウィンドシールド下端部との間にガーニッシュが配置される。

【0003】図6は、従来のガーニッシュ61の取付構造を示す縦断面図である。このガーニッシュ61は、次のように取付けられる。まず、ウィンドシールドゴム2下部のカウル取付部3にカウル4のフランジ4aを挿入固定し、クリップ6をカウルトップ4bに形成された支持孔5に取り付ける。一方、ガーニッシュ61の下面に形成されたリブ8の下端に、断面「く」字状に外側に前後に屈曲されたクリップ9を係止し、このクリップ9をクリップ6に差し込む。また、ガーニッシュ61の下面に形成されたボス10を車種間共用インストルメントパネル12の目隠し用リブ12aの前方（図6中左側）でピン止め（あるいはボルト止め）されたブラケット11に固定する。なお、この目隠し用リブ12aは、本来ウィンドシールドゴム2との間の隙間を目隠しするためのもので、インストルメントパネル12の前縁部に沿って上方に向けて突設されている。

【0004】図6では、目隠し用リブ12aは、ガーニッシュ61とインストルメントパネル12との間の隙間からブラケット11などの内部構造が見えるのを防止する。

【0005】図7は、従来のガーニッシュ71の別の取付構造を示す縦断面図である。この取付構造は、カウル取付部3より垂直下方に伸びたカウルトップ4bに縦断面L字状の支持金具15を固定し、この支持金具15にガーニッシュ71の前縁部71aを当接させている。このガーニッシュ71の後端部71bにタップ孔71c及び補強用リブ71dを形成し、このタップ孔71cにブラケット16を介してインストルメントパネル12をボルト止めし、モール2とインストルメントパネル12と

の間の隙間を閉塞している。

## 【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記ガーニッシュ61、71は、いずれも車種間共用インストルメントパネル12に別物ブラケット11、16を介してピン止めあるいはボルト止めしなければならない。

【0007】特に、図6に示すガーニッシュ61については、ブラケット11にガーニッシュ固定用のピンを差し込むだけであるため、車両の前後方向（図6中印A方向）の建て付けにバラツキが生じる。

【0008】また、図7に示すガーニッシュ71については、ガーニッシュをインストルメントパネル12に取付けるため、ガーニッシュ71及びインストルメントパネル12に取付穴やリブ等を構成しなくてはならない。

【0009】本発明は、このような経緯に鑑みて提案されたもので、ガーニッシュとは別物のブラケット等の部品を使用することなく、簡易にインストルメントパネルあるいはカウルにガーニッシュを取り付け可能にすると共に、インストルメントパネルに取付けたガーニッシュの建付け状態を良好で均一なものにすることを目的としている。

## 【0010】

【課題を解決するための手段】前述した課題解決と目的達成のため、本発明に係るガーニッシュの取付構造は、車種間共用インストルメントパネルの前縁部と、フロントウィンドシールド下縁部との間の隙間を閉塞するガーニッシュの取付構造において、前記インストルメントパネルの前縁部に沿って上方に突設された隙間目隠し用のリブに、前記ガーニッシュの後縁部を重ね合わせて位置決めし、かつ、ガーニッシュの下面をインストルメントパネル及び又はカウルに接合手段で連結したことを特徴とする。

## 【0011】

【作用】インストルメントパネル上方に突設された隙間目隠し用リブに、ガーニッシュの後縁部を重ね合わせると、このリブとガーニッシュが係合あるいは締着されてガーニッシュの後縁部の位置決めがなされる。

【0012】ガーニッシュは、リブとの重ね合わせにより、インストルメントパネルと隙間なく連続して一体となり、異なる車両に車種間共用インストルメントパネルを取り付けても、違和感がなくフロントウィンドシールド下縁部との間の隙間も目立たないようにする。

## 【0013】

【実施例】次に、図1～図4を参照しながら本発明の第1～4実施例を説明する。各実施例において、従来構成と同一部分は図5及び図6に付した符号を各図に付して説明を省略する。

【0014】図1は、本発明の第1実施例の縦断面図である。本実施例は、ガーニッシュ1の後縁部1aから所定の隙間をおいてガーニッシュ1の下面に突条1bが連

10

20

30

40

50

続的に形成され、この後縁部1aと突条1bとの間に凹溝1cが形成されている。ガーニッシュ1の下面のリブ8には、従来例と同様にクリップ9が係止されている。

【0015】本実施例では、ガーニッシュ1の後縁部1aが車種間共用インストルメントパネル12（以下、「インストルメントパネル」という）の目隠し用リブ（以下、「リブ」という）12aの後側で重ね合わされると、ガーニッシュ1の凹溝1cがリブ12aに接合されて位置決めされる。

【0016】このインストルメントパネル12のリブ12aとガーニッシュ1の凹溝1cとの接合と並行して、リブ8下端に係止されているクリップ9を、予め前記カウルトップ4bに取り付けられたグリップ6に差し込む。これによりガーニッシュ1の前縁部1dは、モール2との間に僅かな隙間を開けた状態でカウルトップ4bに支持される。

【0017】本実施例によれば、ガーニッシュ1及びインストルメントパネル12に従来のように孔や補強用の他のリブ等を形成する必要がない。また、本実施例で使用するガーニッシュ1は一部品で構成されており、インストルメントパネル12に固定するための締付ボルト（ビスやピン）等も不要となるため、部品コストを低くできる。

【0018】さらに、ガーニッシュ1の後縁部1aをインストルメントパネル12のリブ12aに引っ掛けるようにして接合させ、ガーニッシュ1の下面をカウル（ボディ側）4にクリップ止めするだけで取付けが完了するため、組み立て易く作業時間が大幅に短縮される。

【0019】図2は、本発明の第2実施例の縦断面図である。本実施例は、第1実施例のリブ8及びクリップ9に代えて、ガーニッシュ21の前端部に縦断面L字形状のアングル部21dを形成したもので、ガーニッシュ1の後端部の凹溝1c等その他の構成は第1実施例と同様である。

【0020】本実施例で用いるガーニッシュ21には、カウルトップ4bに当接可能なアングル部21dが形成され、アングル部21dとカウルトップ4bがボルトBとナットNにより固定されている。

【0021】また、ガーニッシュ21には、図2に示すように、前記ボルトBと対応した箇所に蓋21aが形成されている。この蓋21aは、図2(b)に示すように、インテグラルヒンジ21eから始まってコ字状をなす切込み線21bを形成することにより作られる。この蓋21aの開口側端部には、係止爪21fが形成されている。図2中符号21gは、この係止爪21fと係合するようにガーニッシュ21に形成された段部である。この段部21gから係止爪21fを外して、蓋21aを図2中二点鎖線に示すように開口することができる。

【0022】本実施例も、第1実施例と同様の作用及び効果を奏するが、アングル部21dがボルトBとナット

Nによってカウル4に締着されているため、第1実施例よりも確実にガーニッシュ21をウインドシールドゴム2とインストルメントパネル12との間に固定することができる。また、蓋21aを開くことで、ボルトBの締付けもきわめて容易である。

【0023】次に、図3及び図4に基づいて、本発明の第3実施例を説明する。本実施例に使用するガーニッシュ31は、その後縁部31aにタップ孔31cを形成し、このタップ孔31cを下方に向けるべく折曲可能なように、インテグラルヒンジ31eを形成している。また、ガーニッシュ31下面のリブ8には、従来例及び第1実施例と同様にクリップ9が係止されている。一方、インストルメントパネル12のリブ12前方には、ボルト挿入用の孔12bが形成されている。

【0024】本実施例は、ガーニッシュ31を図3中矢印方向に型抜した後、図4に示すように、インテグラルヒンジ31eから後縁部31aを折曲させて、タップ孔31cをリブ12aの前方のインストルメントパネル12の孔12bに当接させて位置決めする。この状態でインストルメントパネル12の下方からボルトBを通してタップ孔31cに螺合させて、インストルメントパネル12とガーニッシュ31とを接合する。また、この接合と同時にガーニッシュ31のリブ8に係止されているクリップ9を予め前記カウルトップ4bに取り付けられたグリップ6に差し込み、ガーニッシュ31とカウル4とを接合する。

【0025】本実施例によれば、ガーニッシュ31にインテグラルヒンジ31eを形成したため、ガーニッシュ31を型抜き容易な形（開いた状態）に成形することができ、タップ孔31c（ボス部）のスライド型を使用する必要がない。

【0026】このインテグラルヒンジ31eは、ガーニッシュ31をインストルメントパネル12に取り付けた後は、インストルメントパネル12のリブ12aによって隠されるため、インストルメントパネル12の美感を損なうこともない。

【0027】このように、本実施例によれば、ガーニッシュ31の型費用を従来（スライド型を使用する例）よりも大幅に低減できるため、フロントピラーの傾斜角、位置等の外形意匠の異なる2種類以上の車両に共用されるインストルメントパネル12に適用可能なガーニッシュをより安価に提供できる。

【0028】図5は、本発明の第4実施例の縦断面図である。本実施例は、第1実施例における突条1bの裏側（図4中ややカウル側より）に相当する箇所にタップ孔41cを形成すると共に、第1実施例のリブ8及びクリップ9に代えてガーニッシュ41の下面にフェルト42を取り付けたものである。凹溝1cの構成は第1実施例と同様であるが、ガーニッシュ41の後縁部41aの長さは突条41bよりも若干短く形成されている。なお、

5

インストルメントパネル12の前縁部には、ボルト挿入用の孔12bが穿設されている。

【0029】本実施例によれば、ガーニッシュ41の後縁部41aの長さが突条41bよりも若干短いため、インストルメントパネル12のリブ12aをガーニッシュ41の凹溝1cに容易に係止できる。また、インストルメントパネル12を孔12bごしにガーニッシュ41のタップ孔31cにボルト止めするため、インストルメントパネル12に対するガーニッシュ41の建て付けを安定させることができる。さらに、凹溝1cによる接合と

ボルトBによる螺着によって剛性を向上できるため、ガーニッシュ41をカウルトップ4b（ボディ側）に直接取り付ける必要もない。

【0030】その結果、インストルメントパネル12を共用利用しても見栄えを損なわず、また、インストルメントパネル12の上部に（経年劣化等により）変形が発生しても、ガーニッシュ41が追従して見栄えが悪化することもない。

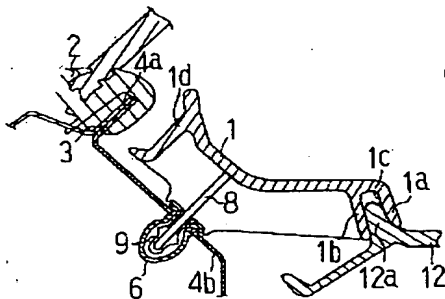
【0031】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のガーニッシュの取付構造によれば、別物ブラケット等が不要であるため、部品点数をきわめて少なくできる。

【0032】また、本発明は簡易迅速にインストルメントパネルあるいはカウルにガーニッシュを取り付け可能であるため、取付作業の一層の効率化を達成できる。

【0033】さらに、本発明はガーニッシュとインストルメントパネルの接続部に隙間がなくて取り付け後の見栄えがよく、建て付け状態にバラツキもなくインストル

【図1】



6

メントパネル上面の経年変形が生じてガーニッシュとの間の隙間ができない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例の縦断面図である。

【図2】(a)は本発明の第2実施例の縦断面図であり、(b)はガーニッシュの部分上面図である。

【図3】本発明の第3実施例に用いるガーニッシュの型抜時の縦断面図である。

【図4】本発明の第3実施例の縦断面図である。

【図5】本発明の第4実施例の縦断面図である。

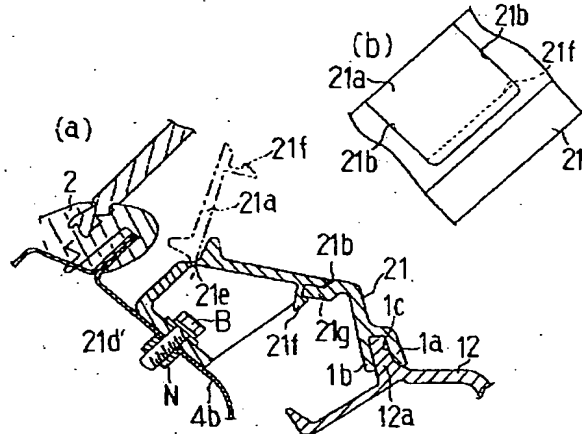
【図6】従来のガーニッシュの取付構造を示す縦断面図である。

【図7】従来の他のガーニッシュの取付構造を示す縦断面図である。

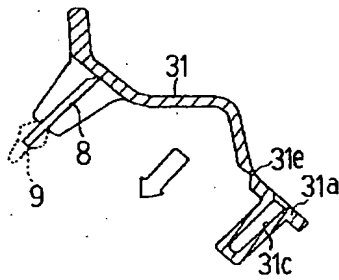
【符号の説明】

- 1, 21, 31, 41 ガーニッシュ
- 1c リブ（接合手段）
- 2 モール
- 4 カウル
- 6 グリップ（接合手段）
- 9 クリップ（接合手段）
- 12 車種間共用インストルメントパネル
- 12a 目隠し用リブ
- 31c タップ孔（接合手段）
- 41c タップ孔（接合手段）
- B ボルト（接合手段）
- N ナット（接合手段）

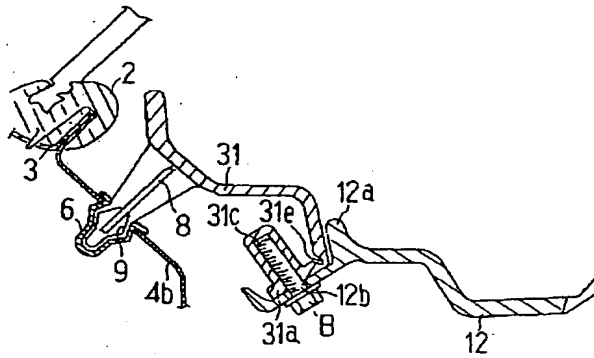
【図2】



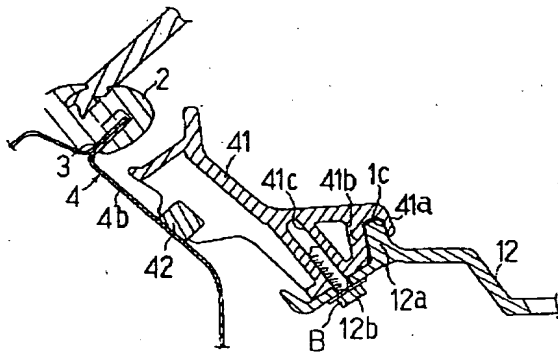
【図3】



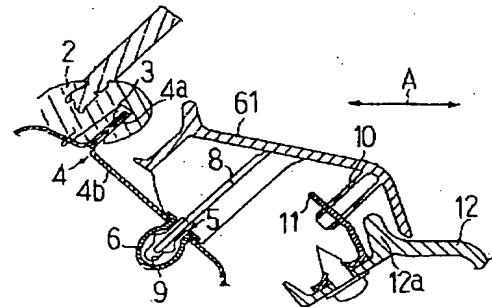
【図4】



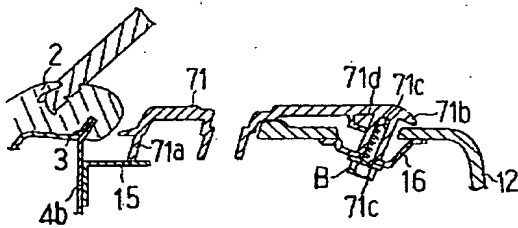
【図5】



【図6】



【図7】



**THIS PAGE BLANK (USPTO)**